

平成27年度業務棚卸評価における総括

【議会事務局】

評価の総括	
<p>【評価について（現状と課題）】</p> <p>議会事務局の業務計画に位置付けた重点事業では、7事業全てにおいて活動目標を達成し、A評価としていることから、順調に進捗しています。</p> <p>事業全般については、行政や他市との情報交換など綿密な情報収集・分析に努めたこと及び法令等や制度などのほか取決め事をよく理解し、議会や行政をはじめ関係者、関係機関と十分に協議、連携して、効率的かつ適切な運営に努めた結果、達成することができたものと分析しています。</p> <p>これらのことは議員（委員）構成や新庁舎移転などあらゆる変化に対応できるように対処していくことが求められます。</p>	
<p>【今後の方向性】</p> <p>「議会の調査活動の充実」については議会・議員活動のさらなる活発化を図るために、質の高い情報収集・提供に努めます。「会議映像配信システム」については、新庁舎への円滑な導入と中継対象の拡大を図ります。「議会の広報・広聴活動の推進」については、新たな媒体を有効に活用するなど効果的な情報提供の実現に努めます。「議会制度の検討」については議会制度の諸課題に対応するための活動のサポートを強化します。その他の事業についても効率的な事業運営を目指し継続して進めていきます。</p>	

平成27年度業務棚卸評価における事務事業数

平成26年度の取組に対する評価と事業の方向性									
事務事業数	活動数		評価の数	事業の方向性					
				拡大	現状維持	縮小	廃止に向けて検討	休・廃止	終了
14	71		A	3	8	0	0	0	0
			B	0	0	0	0	0	0
			C	0	0	0	0	0	0
			D	0	0	0	0	0	0
			E	0	0	0	0	0	0
			Z	0	0	0	0	0	0
		共通事務、災害 応急対策活動		3					

平成27年度の新規事業									
事務事業数	活動数			拡大	現状維持	縮小	廃止に向けて検討	休・廃止	終了
2	7			0	2	0	0	0	0
<p>【新規事業名】</p> <p>ホノルル市・郡議会との交流 大学等との連携</p>									

A評価以外の事業の内訳

B評価の主な事業（業務棚卸しにおける事務事業全体の決算額が100万円以上）

C評価の主な事業

D評価の事業

E評価の事業

Z評価の事業

事業の方向性の内訳

縮小

休・廃止に向けて検討

休・廃止

終了

議会事務局における課題の整理と事業手法の検討

※各課においてB～Z評価とした事業及びA評価の中で課題のある事業を掲載。

議会事務局

事業名	26年度の取組に対する評価	事業の課題
議会の運営（会議等の速記事務（委託））	A	会議録作成に係る経費削減のため、26年度から会議録の納期に緊急性が低い議会運営委員会や公共施設整備対策特別委員会について速記士派遣をやめて音声反訳に切り替えました。27年度は広報広聴委員会も音声反訳で対応しています。経費削減のための方策として、音声認識ソフトの活用を検討しましたが、先行自治体の例では費用対効果が期待できません。定例会の進行が、本会議での一般質問、委員会での議案審査の順となる本市議会においては、本会議は速記士派遣をやめても、大きな影響がでないことが予想されることから、その方向で見直したいと考えています。
事業手法の検討（広域連携及び公民連携の視点）		
特になし		